

受験番号	
------	--

日本赤十字秋田看護大学大学院
看護学研究科共同看護学専攻博士課程

令和２年度 大学院Ⅰ期 入学試験問題

〔英 語〕

【注意事項】

- 1 制限時間は60分です。
- 2 問題文は、表紙を含めて全部で 3 ページあります。
- 3 受験番号は、この表紙と解答用紙の全てに記載してください。
- 4 質問があるときは、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 5 解答用紙および問題文とも、持ち帰ってはいけません。
- 6 試験中に英和辞典の使用は可能ですが、電子辞書の使用はできません。

英 語

【問 題】

下記は、ある看護研究者が記した看護に関するエッセイである。内容をよく読み、400 字以内で日本語に要約しなさい。

(英和辞書使用可)

文章は、著作権の都合により掲載しておりません。



© Wieck, K. L. (2002). *Stories for Nurses: Acts of Caring*. Mosby.

doing more with less[※]：少ない労力と時間でより多くの成果を上げること

解答例

看護学生への教育は、近年、積極的なアプローチから消極的なものへと大きく変わった。かつて喜んで看護学生を指導していた看護師や病院の指導者が、学生を受け持つことに熱心ではなくなってきたが、それには、病院での実習環境の変化が影響している。

現在の病院では、少ない労力と時間でより多くの成果を上げることが要求される。人員も経費も削減され、多職種連携の時代にもかかわらず、看護師の仕事は増える一方であり、本来の仕事ではない雑務までこなさなければならない。職場環境の悪化で看護師が減り人材不足に陥った結果、病院経営陣もそれに気づき改善に動き出したが、成果はあがっていない。それで看護実習にも影響が及んでいる。

看護師が看護学生といっしょに働きたがらない理由は、看護師があまりに忙しすぎて疲労困憊しているからだ。それが改善されれば、看護師は進んで看護学生を指導するはずだ。

将来の看護師の教育をあきらめてはならない。大学教員と看護師が力を合わせれば、学生に有意義な職務経験を提供でき、患者に安心も与えられる。医療ケアの将来は、看護師と看護学生と大学教員との協働作業にかかっているのだ。